

上間仁田の家 (自然と暮らす家)

設計者/WOOD'S環境計画工房
施工者/株式会社津久井工務店

設計趣旨 CONCEPT

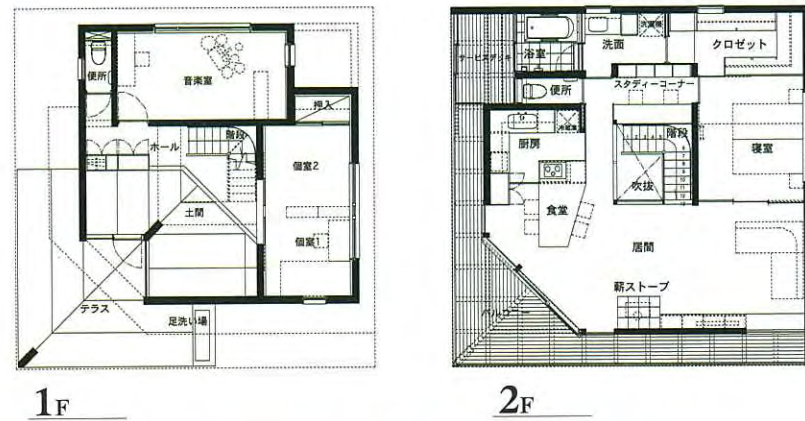
この家は自然豊かなこの里山で季節の移ろいを感じながら生活をしたいとの建て主さんの希望で、既存の敷地にはなるべく手を入れずにその豊かな環境の中に建物を挿入したような計画としました。

1階は遮音、湿気対策からRC造で計画したエントランスと個室スペースです。敷地は南下がりの斜面となっており、そこにすこし埋まった洞窟を思わせる空間です。2階はオープンなイメージの木造とし、水回りと寝室を配置、2階のみで生活を完結できる計画とし、自然の中に浮いているような開放的なスペースとしました。

屋根にはソーラーパネル、内部は薪ストーブを設置し、複雑な機械等にたよらずに自然とうまくつきあうことで余分なコストを掛けずに生活出来る家です。また内部はRC打ち放しと構造材現しの国産杉による剛と柔のイメージ、それを漆喰仕上げの壁によって包み込んだような、すがすがしい気持ちのよい空間としました。



平面図



広い間の家

設計者/田村 洋一 (田村建築設計工房)
施工者/分離発注

設計趣旨 CONCEPT

前橋市郊外のガレージ、長いアプローチがつくる中庭が特徴的な住宅。室内は陽だまりをつくる広い居間を中心とした、おおらかな空間となっており、建て主や来客者の多様な生活や行動に柔軟に対応し、受け入れる計画としている。居間・食堂は中庭や和室/寝室、さらに吹抜けを介して2階子供室とつながり、生活の多様性が増すように考慮した。生活を補完する食品庫や収納スペース、小さな書斎等を居間周りに配し、利便性も併せ持つように配慮した。

建物性能面では十分な気密断熱を確保した建物をつくと共に、深夜電力を利用した床下蓄熱暖房(エナーテック)を採用し、家の中どこでも暖かみを感じる空間とした。断熱は次世代省エネ基準を満たした外断熱工法の他に、羊毛断熱材を付加断熱として採用した。庇による日射のコントロールや通風計画などを行い、光熱費の掛からない建物を目指した。また太陽熱温水器を採用し、効率の良い給湯環境をつくり、省エネ化につなげている。



平面図

